

子どもと子育て家庭への支援に関する新たな複合施設について

1 複合施設に関する前回会議での主な意見

分類	意見
複合施設のメリットについて	<p>関係機関が同じ施設に入ることによって顔の見える関係が構築され、支援に関する認識を日常的に共用することができる</p> <p>ライフステージを通じて、継続した支援が受けられるような拠点施設があることで、切れ目のない支援が可能となる</p> <p>現在、色々な場所に関係機関が分かれているものが、一つの施設となることで、縦の支援、横の支援がつながることが期待できる</p> <p>複合施設ができることで、複雑な課題のあるケースであっても、どこに支援をつなげばよいか明確になる</p>
複合施設の機能について	<p>子どもの支援に関わる関係機関が1か所にまとまっていると良い</p> <p>発達の気になる子どもの支援について、そこに行ったら診断されてしまう、という施設ではなく、入りやすい雰囲気の施設になると良い</p> <p>発達の気になる子どもや医療的ケアを必要とする子どもを持つ親など、困難さを持つ保護者同士がつながることのできるような、日常的な交流の場ができると良い</p> <p>次世代の親を育てるという意味で、中高生が赤ちゃんに触れることのできるような場を提供できる機能があると良い</p> <p>外国にルーツのある子どもが増えており、支援の連携を考えると、帰国・外国人相談の機能も複合施設に含まれるとよい</p> <p>小学校から高校までを通じて、家庭や学校などに居場所がない子どもでも利用できるような、子どもの居場所の機能があるとよい</p>
複合施設に関する懸念事項	<p>施設にこだわりすぎることで、地域との連携がおろそかにならないように注意が必要である</p> <p>もともと各地域の身近な場所で相談できていた人が、拠点となる施設ができることで、遠くまで足を運ぶ必要が出てしまうのではないかと</p> <p>拠点となる施設を作ることで、相談を待つ姿勢が強くなってしまったり、アウトリーチがおろそかになる可能性がある</p>
その他	<p>複合施設を置くことで支援者のマンパワー不足のような問題も同時に解消できることが望ましい</p> <p>施設の話とあわせて、地域とは何か、多様な人たちが武蔵野市の子どもとつながるにはどうしたらいいか、といったことも考えていく必要がある</p> <p>拠点となる複合施設ができて、相談件数が増えた時でも対応できるよう、啓発や予防も含めた全体的なシステムについて考えていく必要がある</p>

2 複合施設の必要性について

(1) 複合施設の定義について

本会議における検討における複合施設とは、子どもと子育て家庭への「支援」に関する機能を中心とした複合施設を言うものとする。

(※) 子どもに関連する複合施設は、文化施設やスポーツ施設を中心とするものなど、さまざまな形態が考えられるが、本会議では「支援」のための施設について検討する。ただし、付加的に文化機能等も含めることは妨げない。

(2) 武蔵野市における現在の支援機関について（リーフレット等参照）

- ①子育て世代包括支援センター
- ②児童発達支援センター（みどりのこども館）
- ③教育支援センター

※そのほか地域の子育て支援団体とのネットワークも構築している

(3) 複合施設の必要性の検討について

以下のような観点から、子どもと子育て家庭への支援に関する新たに複合施設を設置する必要があるかどうかについて検討し、会議としての一定の方向性を示す。

- ① 子どもと子育て家庭への望ましい支援のあり方を実現するために、複合施設を置くことが効果的であるか
- ② ①以外に、複合施設を置くことによる副次的な効果はあるか
- ③ 複合施設を置かず、既存の施設体制のままで、同等の効果を得ることができないか
- ④ 複合施設に含めるべき機能を具体的にイメージできるか
- ⑤ 複合施設を置くことによる課題はあるか